



● 後藤 正樹 ●

◆多文化共生社会の実現について
 問本年4月の改正入管法施行により、特定技能という在留資格が創設され、本市の外国人住民数も増加していくことが予想されるが、外国人住民の状況と今後の見通しについて、どのような認識を持っているか。
 答1854人、33カ国の外国人住民が暮らしている。今後も、その数は増加すると認識している。
 問人口減少が続く本市の活力を維持し、持続可能な地域社会を確立するためには、地域社会の一員として、外国人の定着を図り、日本のルールや、地域の慣習に従って暮らしていくようにする必要がある。日本人住民と外国人住民が、信頼し合い、安心して安全に暮らせる地域社会を実現し、土岐市の伝統や文化、よいところはそのまま残し、変えた方がいいところ、変えてもいいところは、お互いのために変えていく。そんな共生社会の実現ができればいいと思うが、目指すべき多文化共生社会のかたちについて、市長はどのような

考えを持っているのか。

答外国人も地方自治法上、日本人と同じ住民であり、同じ生活者として、安心・安全に生活できるように配慮する必要がある。その上で、国境を越えた市民参加社会の実現を目指すべきだと考える。

問外国人児童・生徒の状況はどうか。

答130人、14カ国の児童・生徒が市内の小・中学校に在籍している。その一方で、8人の外国籍の子どもの就学が確認できていない。

●外国人住民の子ども世代は、地域社会の新たな担い手として育成していくべきであると考えているので、就学支援や日本語教育等を、今後さらに積極的に進めてもらいたい。

◆観光資源の活用について

問三国山キャンプ場の運営状況と、今後の方向性について聞きたい。

答平成18年度から指定管理を導入し、管理委託料は207万2千円。他に関連予算として、45万4千円を計上。利用者数の推移や費用対効果に鑑み、存続の必要性も含めて検討していく。

問豊かな自然と、良好なアクセスという地の利を生かし、旧鶴里・曾木小学校に、初期投資の少なくて済むオートキャンプ場を設置することはできないか。

答市有地の活用方法の一つの選択肢として考えていきたい。

《第5回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案



● 各務 和彦 ●

◆住宅火災警報器の設置について
 問土岐市の火災警報器の設置状況について。

答設置率については、設置啓発と維持管理を促す目的に、市内の全世帯から調査世帯を200件無作為抽出して戸別訪問し、住宅火災警報器の効果等PRするとともに、設置状況や維持管理の状況について調査。令和元年度6月1日現在の設置率は、土岐市は79%。

問近年の火災発生宅の警報器の設置状況について。

答平成29年中の一般住宅火災は7件発生し、警報器の設置住宅は2件。平成30年中は、一般住宅火災が6件。そのうち警報器の設置住宅は1件。本年に入り10月までの状況で、一般住宅火災が6件発生し、設置住宅は1件。3年間の市内発生住宅での設置状況は20%前後と低い状況でした。
 問高齢者宅への主な啓発活動について。

答独居高齢者宅への防火啓発活動と

しまして、平成29年度からは秋季火災予防運動期間中に個別訪問を実施しており、住宅用火災警報器の設置啓発と維持管理とともに、ストーブなど火器取扱いでの注意点等住宅防火指導を行っているところで、今年度はさらに9月の敬老の日前後と11月の秋季火災予防期間中に137軒を訪問し、防火指導をしております。
 問独居高齢者への機器設置状況及び交換等について提言。民生委員さんとの連携及び現状調査等についてのお考えは。

答高齢者の火災による被害軽減のため、住宅防火対策は重要な火災予防行政でございます。高齢者と接する機会の多い民生委員さんの協力を戴ければ、効果的な指導もできるものと考えておりますので、消防本部としましては、関係機関との連携も検討し、住宅用火災警報器の設置率及び維持の向上に努めてまいりますので、よろしく願います。

◆乙塚古墳附段尻古墳整備について
 問現場見学会の開催等について。

答こうした貴重な機会を利用して、古墳の構造や現在行っております整備工事について理解を深めて戴くために、来年度の春以降に見学会を行いたいと考えております。



● 小関 篤司 ●

◆土岐市立総合病院の今後について
 問 4月からの指定管理に向け、市民ニーズを踏まえた医療、安心の医療体制確保ができていますか。

答 総合病院では、現在医師23名から4月に21名。看護師125名から93名。技師54名から45名。病院と老健合わせて、正職員は253名から182名、医師を除く非常勤職員は143名から127名が移籍を希望している状況で、今後もJ A厚生連と協力し、確保に努めます。

問 議会報告会や市民の声として、総合病院に対する不満、不安、誤解が広がっているように感じます。新体制では公設公営より医療提供体制の向上につながるということですが、金銭面以外で良くなる部分は。

答 現状維持を目標に、そこから上積みを考えています。4月以降経営者は同じになり、東濃厚生と土岐総が協力し合い、人事交流が盛んになると期待しています。(市長) 診療科の問題など一概に医師数がこれだけだから大丈夫とか、ダメだとは言いきれない。スタ

ートの段階である程度のレベルの維持を確保したいと思っています。さらに上のステップを目指すには、時間が要すると思います。努力も今後指定管理者でもしていく必要があると思っています。

問 次に1病院化(統廃合)について基本構想を検討するなかで、土岐市のビジョンはどのようなものか。

答 ビジョンは高度急性期以外の急性期から回復期について、この地域において医療が完結する、あるいは介護系の施設等も必要で、その中で核となる病院を目指します。基本構想については、まだそこまでは至っていないのは事実ですが、そのためにネットワーク化を進め、指定管理で土岐総の充実を図る。その先に1病院化が存在すると考えています。

問 市民説明会については。

答 今の段階やるかどうか明確に答えるタイミングではないと考えます。

● 検討会も市民傍聴できるようになり、見えやすくなりました。さらにもう一歩進めて、市民と一緒に考えてる取り組みを進めてください。

◆ 加齢性難聴の補聴器購入助成について

問 軽度・中度の加齢性難聴に対する補聴器の購入助成導入の考えは。

答 (市長) 障がい者支援のカテゴリーから、どこまで広げるかは難しい。国の議論を見ながら考えていきたい。

《第5回定例会一般質問》

●印は議員の意見・提案

次回3月定例会(予定)

※午前9時 開会予定(変更の場合あり)

日	月	火	水	木	金	土
2/23	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28	2/29
			本会議 初日 (議案提案説明)			
3/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 2日目 (質疑・委員会付託・一般質問)	本会議 3日目 (一般質問)	本会議 4日目 (一般質問)	文教厚生 委員会	文教厚生 委員会	
15	16	17	18	19	20	21
	総務産業建水 委員会	総務産業建水 委員会				
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31			本会議 最終日 (委員長報告 質疑・討論・採決)	